

1. 学年・教科・単元名 6年 理科 「水溶液の性質」

2. 実践者（所属） 石橋 純一郎（菅 小学校）

3. 使用する機器・メディアなど

入 力		ソフト, コンテンツ	出 力	
	教材提示装置	Web サイト ()	<input type="radio"/>	50 インチ大型テレビ
<input type="radio"/>	コンピュータ			電子黒板
<input type="radio"/>	デジタルカメラ	<input type="radio"/> PC ソフト (Microsoft word または PowerPoint)		プロジェクタ
	SD カード			プリンタ
	デジタルビデオカメラ	DVD ソフト, 放送番組 ()		
	DVD プレイヤー			
その他 ()				

4. ICT 活用のねらい（資料「教育の情報化に関する手引」文部科学省 2009 年）

教師が活用する場面		児童が活用する場面	
	興味・関心を高めるため	<input type="radio"/>	情報を収集・選択するため
	課題を明確につかませるため		文章, 表や図にまとめるため
	わかりやすく説明したり, 児童の思考や理解を深めたりするため		わかりやすく発表したり表現したりするため
	知識の定着を図るため		知識の定着や技能の習熟を図るため

5. 学習活動の流れ

学習活動（10 分）	ICT 活用の留意点等
1. 塩酸にアルミニウムや鉄を溶かしたときの反応を観察する。 2. 反応があったと思った時点で, その様子をデジタルカメラで撮影する。 3. 各班の結果（画像）を比較検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に応じて教師が撮影のタイミングを見計らって指示する。 ・撮影した画像を 50 インチ大型テレビで提示する。 ・ワードやパワーポイント等のソフトを使って結果を並べて表示すると比較しやすい。 ・デジタルカメラをテレビに直接つないで提示するほか, SD カードをテレビに挿入する方法もある。

6. 実践のポイント

- ・色味や細かい観察の場合は, プロジェクタよりも 50 インチ大型テレビの方がわかりやすい。